

**この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。**

※ 申立書の写しは相手方に送付されますので、あらかじめご了承ください。

受付印	<input checked="" type="checkbox"/> 家事 <input type="checkbox"/> 調停 <input type="checkbox"/> 審判	申立書 事件名 ( <b>遺留分減殺</b> )
	(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。)	
収入印紙 円	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">印紙</div>	(貼った印紙に押印しないでください。)
予納郵便切手 円		

<input type="radio"/> <input type="radio"/> 家庭裁判所 御中 令和 <input type="radio"/> 年 <input type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 日	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	<b>甲 野 一 郎</b> <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">印</span>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)	準口頭
------	--------------------------------------	-----

申立人	本籍 (国籍)	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。) 都道 府県
	住所	〒 <b>〇〇〇 - 〇〇〇〇</b> <b>〇〇県〇〇市〇〇町〇番〇号〇〇マンション 〇〇〇号室</b> <small>※裁判所から連絡がとれるように正確に記入していただく必要がありますが、ご不明な点があれば、申立書を提出される裁判所にお問い合わせください。( 方)</small>
	フリガナ氏名	<b>コウノ イチロウ</b> <b>甲 野 一 郎</b> 大正 <span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">昭和</span> <input type="radio"/> 年 <input type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 日生 平成 令和 ( <input type="radio"/> 歳)
相手方	本籍 (国籍)	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。) 都道 府県
	住所	〒 <b>〇〇〇 - 〇〇〇〇</b> <b>〇〇県〇〇市〇〇町〇番〇号〇〇アパート 〇号</b> <small>※裁判所から連絡がとれるように正確に記入していただく必要があります。( 方)</small>
	フリガナ氏名	<b>テイムラ ウメコ</b> <b>丁 村 梅 子</b> 大正 <span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">昭和</span> <input type="radio"/> 年 <input type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 日生 平成 令和 ( <input type="radio"/> 歳)

(注) 太枠の中だけ記入してください。

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

## 申 立 て の 趣 旨

相手方は、申立人に対し、相手方が被相続人甲野太郎から遺贈を受けた別紙物件目録記載の土地及び建物につき、その時価の2分の1に相当する物件を返還するとの調停を求めます。

## 申 立 て の 理 由

- 1 被相続人甲野太郎（本籍〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地）は、その配偶者花子死亡後の平成〇年ころから相手方と同棲し、内縁関係にありましたが、平成〇年〇月〇日に相手方の住所において死亡し、相続が開始しました。相続人は、被相続人の長男である申立人だけです。
- 2 被相続人は、別紙物件目録記載の土地、建物を相手方に遺贈する旨の平成〇年〇月〇日付け自筆証書による遺言書（平成〇年〇月〇日検認済み）を作成しており、相手方は、この遺言に基づき、平成〇年〇月〇日付け遺贈を原因とする所有権移転登記手続をしています。
- 3 被相続人の遺産は、別紙の物件目録記載の不動産だけであり、他に遺産及び負債はありません。また、前記遺言の他に遺贈や生前贈与をした事実もありません。
- 4 申立人は、相手方に対し、前記遺贈が申立人の遺留分を侵害するものであることから、平成〇年〇月〇日到着の内容証明郵便により遺産の2分の1に相当する物件の返還を求めましたが、相手方は話し合いに応じようとしないので、申立ての趣旨のとおり調停を求めます。

(別紙)

物件目録(土地)

番号	所在地	地番	地目	地積	備考
1	〇〇市〇〇町〇丁目	〇 番 〇	宅地	平方メートル 150 00	建物1の 敷地 評価額 〇〇〇万 円

物件目録(建物)

番号	所在地	家屋 番号	種類	構造	床面積	備考
1	〇〇市〇〇町〇丁目〇 番地	〇〇	居宅	木造瓦葺平家 建	平方メートル 90 00	土地1上 の建物 評価額 〇〇〇万 円